



2015年9月14日

大和ハウス工業株式会社
代表取締役社長 大野直竹
大阪市北区梅田 3-3-5

**■世界的な社会的責任投資株式指数
「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・アジア・パシフィック・インデックス」
に3年連続選出されました**

大和ハウス工業（本社：大阪市、社長：大野直竹）は、2015年9月10日、世界的な社会的責任投資（SRI）^{※1}株式指数である「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・アジア・パシフィック・インデックス(DJSI Asia Pacific)」に3年連続で選出されました。

「DJSI」^{※2}は、1999年にアメリカの出版社ダウ・ジョーンズ社とスイスの調査・格付会社SAMグループが共同開発した指標です。今回の「DJSI Asia Pacific」では、日本・アジア・オセアニア地域において、経済面・環境面・社会面での実績を様々な項目で分析



し、持続的に成長が見込まれる企業を選出しています。今年度は、同地域の主要対象企業 600 社のうち 145 社（うち日本企業 62 社）が選出されました。

今回、当社が選出された理由は、住宅や建築物のライフサイクルにおける「環境負荷ゼロ」への取り組みやダイバーシティの推進などが高く評価されたものです。


今後も当社は、「人・街・暮らしの価値共創グループ」として、幅広い CSR 活動を通じてお客さまと共に新たな価値を創り、活かし、高め、すべての人が心豊かに生きる暮らしと社会の実現を目指します。

あわせて、「ア（安全・安心）・ス（スピード・ストック）・フ（福祉）・カ（環境）・ケ（健康）・ツ（通信）・ノ（農業）」をキーワードに、世の中が必要とする商品やサービスの提供を通じて、豊かな住生活の実現と企業価値の向上を目指すとともに、持続可能な社会の発展に貢献していきます。

※1. 企業への株式投資の際に、財務的分析に加えて、環境配慮や社会的活動などの評価、企業の社会的責任の評価を加味した投資手法。

※2. 「DJSI」とは、透明性、コーポレートガバナンス、リスク・危機管理、環境管理・パフォーマンス、利害関係者の関与促進、地域社会の発展、エネルギー管理・気候変動、生物多様性、人的資源、安全性を含め、様々な基準に基づいて企業を評価する指標。

【 未来を、つなごう We Build ECO 】



私たちは、“未来を見据えた自主的な環境行動によって、常に社会をリードし、現在と未来をつないでいきたい”との思いのもと、すべての企業活動を通じて、地球温暖化防止や資源循環などの環境活動に取り組んでまいります。

以上

お問い合わせ先	
広報企画室	広報グループ 06 (6342) 1381 東京広報グループ 03 (5214) 2112